

# 相原中学校だより

臨時号  
R2. 2. 4

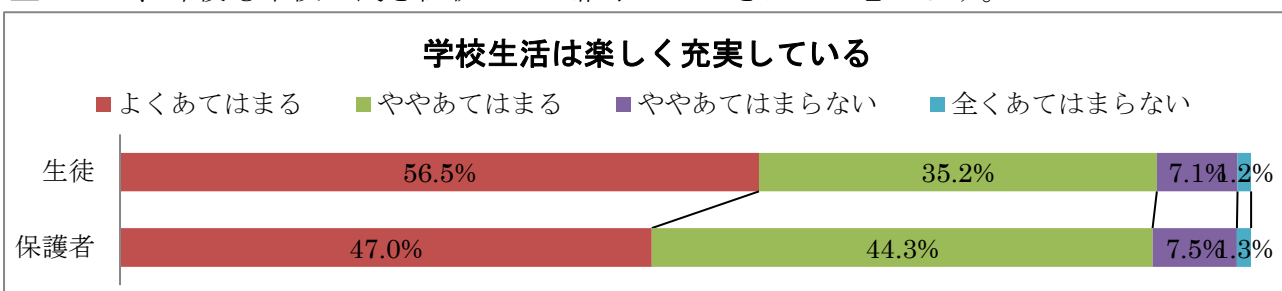
## 今年度の成果と課題

校長 江戸谷 智章

令和元年度の学校評価（自己評価）がまとまりましたので、その概要をご報告します。この報告は学校生活に関するアンケート、各懇談会でのご意見、行事の反省、日常の生活の様子等を総合し、本校教職員でまとめたものです。紙面が限られているため、アンケート集計結果及び全国学力・学習状況調査の分析結果については、学校ホームページに掲載いたしますので、あわせてご覧いただきますようお願いいたします。

### 《今年度の成果として感じたこと》

どの生徒たちも集団生活を送る上での規範意識がしっかりと身につけており、学習態度も真面目で、生徒会活動や部活動にも意欲的な参加姿勢を示しています。相原中学校の学校風土として、今後も本校の良き伝統として継承していきたいと思えます。



○学校生活に関するアンケートでは、90%を超える生徒が充実した学校生活を送っていると回答しており、多くの生徒が学級活動や部活動に目標を持って取り組んでいます。

- ・「学校や社会のルールを守っている」：97.1%（生徒）、96.4%（保護者）
- ・「学習や委員会活動、部活動等に目標を持って取り組んでいる」：92.2%（生徒）、86.7%（保護者）
- ・「学級や部活動等での人間関係はうまくいっている」：93.7%（生徒）、92.8%（保護者）
- ・「部活動は楽しく充実している」：92.8%（生徒）、87.48%（保護者）
- ・「学校生活の中で、自分を生かせる場所や機会がある」：80.9%（生徒）、81.6%（保護者）※注1

○いじめ防止に向けて、生徒生活アンケートを定期的実施するとともに、生徒指導・生徒支援会議を毎週位置づけたことで、未然防止をはじめ早期発見、早期対応に取り組むことができたと考えています。

○校内研究を通して定期的に授業を公開し授業改善に取り組むことで、それぞれの教科では、生徒同士の学び合い学習を通して主体的、協同的な学習が進められています。さらに個々の生徒の課題に応じたきめ細かな指導の在り方について今後も研鑽してまいります。

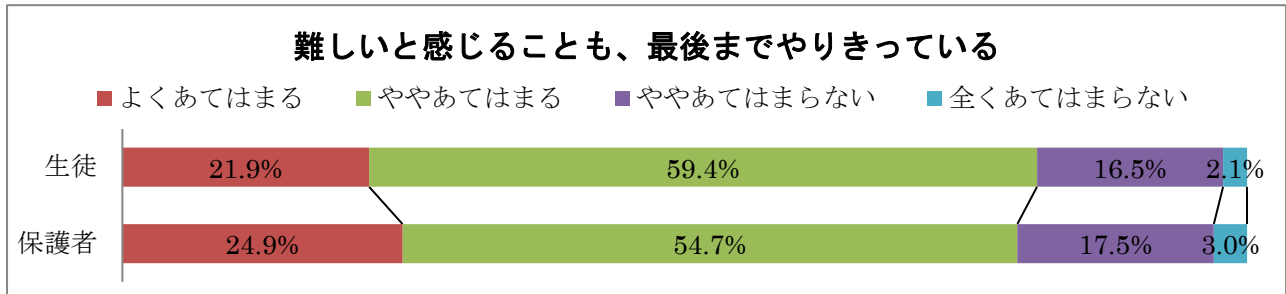
○優輝祭では企画・運営の段階から異学年の交流活動をとおして上級生が下級生に対して責任ある行動を示し、また下級生においてもよき伝統を引き継ごうとする気持ちが高まり、生徒の手による学校祭づくりが継承されています。

○部活動では朝練習から主体的に活動に取り組んでおり、人間関係においても仲間同士で切磋琢磨し合い豊かな人間関係を築いています。今後も技術面の向上のみならず、生徒たちの興味・関心等をより深く追求できる場として、適切な運営を心がけてまいります。

※注1 各アンケートの結果数値は、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計値

## 《課題および次年度に向けて》

本校では平成30年度から、学校の実態から「熟考力」「実践力」「意志力」の3点を教育活動の重点として定め、子どもたちの「生きる力」の育成に向けて継続的な取り組みを進めています。そのためには、これまで同様、単に生徒の変容を望むだけでなく、教職員と生徒・保護者の信頼関係のもと、教職員自らが指導力・人間力を高め、信頼される教師像を構築していくとともに、家庭教育力・地域力をもって学校教育の基盤を確かなものにしていくことが大切と考えます。今後も地域・保護者の皆さまとの連携・協力を図り、知徳体のバランスのとれた教育活動を一層推進してまいります。

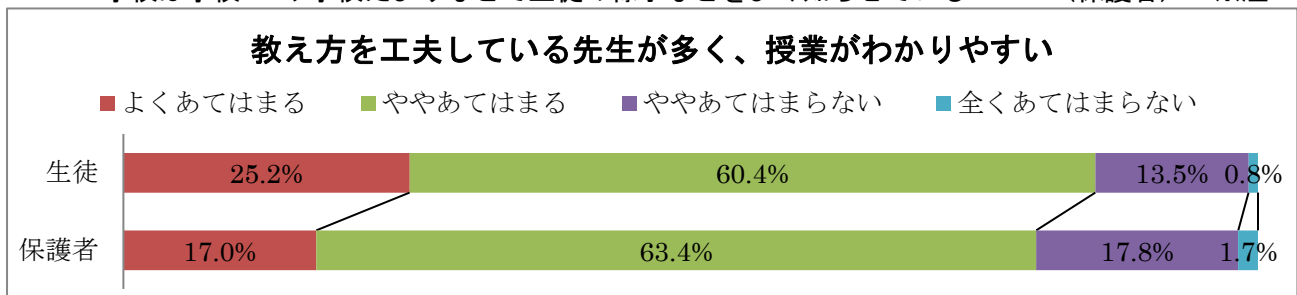


○成功体験のみならず、失敗体験も生徒たちを大きく成長させるものと考えます。失敗をただの失敗に終わらせないためにも、生徒に寄り添いながら困難にも屈せず物事を成し遂げていく資質・能力を学校の教育活動をとおして培っていきたいと考えます。

○生徒の健やかな成長を育むために、これまでと同様に、学校や生徒の様子を学校ホームページや学校だより等でお伝えし、学校の教育活動の「見える化」を図ってまいります。また、本校が重点目標として掲げる「熟考力」「実践力」「意志力」の3点についても生徒はもちろんのこと、保護者、地域の皆様にも機会あるごとにお知らせし、本校の教育方針について理解を深めてまいります。

・「学校重点目標や学年目標を意識して生活している」：61.6%（生徒）

・「学校は学校HPや学校だよりなどで生徒の様子などをよく知らせている」：93.8（保護者） ※注1



○学習調査等を分析すると、相対的には生徒の学習成果はよいものの、中には授業内容についていけなくなっている生徒もいます。学校は今後も研究授業等をとおして教員の授業力の強化に向けて取り組むと共に、個々の生徒の教育的ニーズを把握することで、学習相談会を実施のあり方等についても検討・工夫をしていきたいと考えています。

○アンケートでは、相談できる先生の割合が8割程度となっています。教師と生徒・保護者との信頼関係のさらなる構築を図り、これまで以上に相談しやすい雰囲気づくりに向けて、校内研修等を通して生徒理解並びに教師力の向上に努めてまいります。

・「自分のことをわかろうとしてくれる先生がいる」：81.9%（生徒）、80.5%（保護者） ※注1

○その他、本校の定期テストや学習評価の在り方についてご意見をいただいています。今後、生徒への説明はもちろんのこと、保護者の皆さまには保護者会や学級懇談会等の場を活用することで、丁寧に説明してまいりたいと考えております。

**今後も生徒の生命や人権の尊重、学校の安全・安心を基盤とした教育活動を継続し、学校教育のさらなる充実に全教職員をあげて取り組んでまいります。引き続き保護者の皆さま、地域の皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。**